

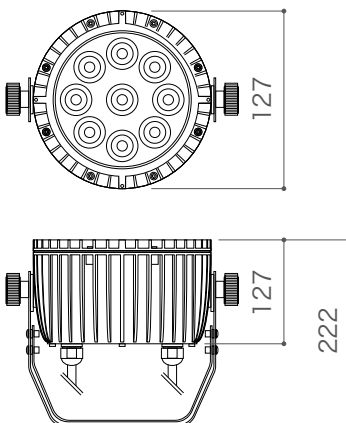
# X-PAR WASH 4in1 100W エクスペー ウォッシュ 4in1

このたびは弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用になられる前に必ず本説明書をお読みの上、正しくお使いください。

## 商品図及び仕様

型番	X-PH-4CH-100W
定格電圧	AC100V ~ 240V (50,60Hz)
消費電力	最大100W
重量	4,800g
照射角	30°
最大接続数	10台
制御	DMX512(9ch) マスタスレーブ、サウンドアクティブ
使用環境	-10°C ~ 40°C / IP65
備考	パワーコード(重量: 240g)

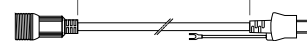
保証期間	出荷日より1年間
------	----------



### 付属品

パワーコード

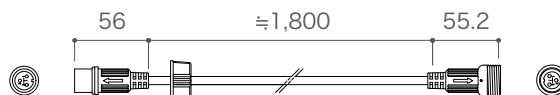
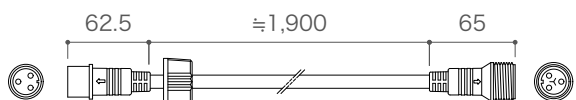
≒1,350



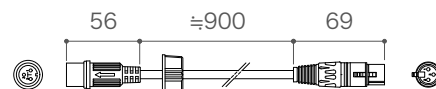
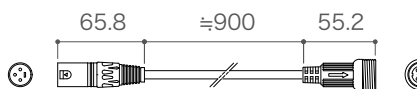
## オプション品

商品名	専用パワーエクステンションコード
型番	X-PH-EX-C
重量	350g
備考	電源延長コード

商品名	専用DMXエクステンションコード
型番	X-PH-DMX-C
重量	150g
備考	DMX延長コード



商品名	専用DMX変換コード
型番	X-PH-DMX-CV
重量	各100g
備考	キャノンジャック 3pin オススメセット



保証期間	オプション品は保証対象外
------	--------------

## ご使用前に必ずお読みください

### 安全にご使用していただくために

- 電源は必ずAC100V ~ 240Vをご使用ください。
- 本灯具を改造、分解するなど無理な方法でのご使用はしないでください。
- 本灯具に異常が発生したらすぐに電源を切り、販売店、工事店にご相談ください。
- 本灯具を布や紙などで覆ったりしないでください。  
またカーテンや揮発物など燃えやすい物から最低50cm離してご使用ください。
- メンテナンスが可能な場所に設置してください。
- 長時間使用をしない場合は電源ケーブルをコンセントから外してください。
- 本灯具への接続が全て完了してから電源をいれてください。  
本灯具を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。

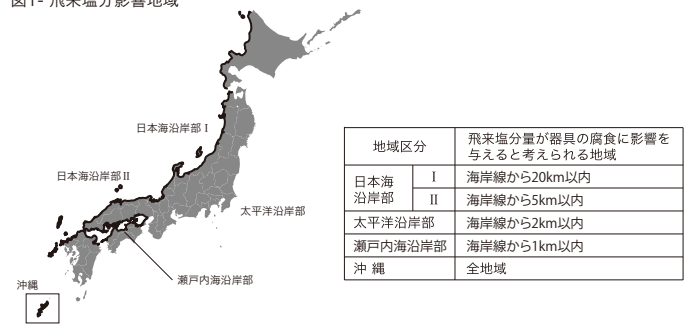
### 本灯具は以下のような環境で使用しないでください

- 常時振動や衝撃がある場所。
- 水中でのご使用。
- 海水がかかる場所。
- 不安定な場所。
- 腐食性のガスが発生する場所。
- 湿度の高い場所。
- 有機溶剤がかかる場所。
- 密閉空間や周囲温度が高い場所。

### ご使用になる前の注意点

- 梱包を開き破損した部品や欠品がないか確認してください。
- ご使用になる前には必ず点灯確認を行ってください。
- 最大接続数を超える接続はしないでください。
- 本灯具コードで本体を引っ張ったり持ち運んだりしないでください。
- コードは踏まれたり、挟まれたりすることのない場所に設置してください。  
断線の原因となります。  
設置の際には本商品アーム取付穴に別途ボルトなどを使用してしっかりと固定してください。
- 安全にご使用して頂くために3ヶ月ごとに定期メンテナンスをしてください。
- ネジや部品のゆるみ、損傷、コード等の傷みをお調べください。
- 灯体の汚れなどは柔らかい布で拭き取ってください。
- 工事完了前に灯具との結線箇所等にてテスターで電圧の再確認を行ってください。
- 24時間連続使用など1日20時間以上の長時間使用の場合は保証期間を半分とします。
- 船上、海上、飛来塩分地域(図1参照)でのご使用は保証の対象外となります。  
塩害を予想する設置箇所でのご使用方法は別途お問い合わせください。

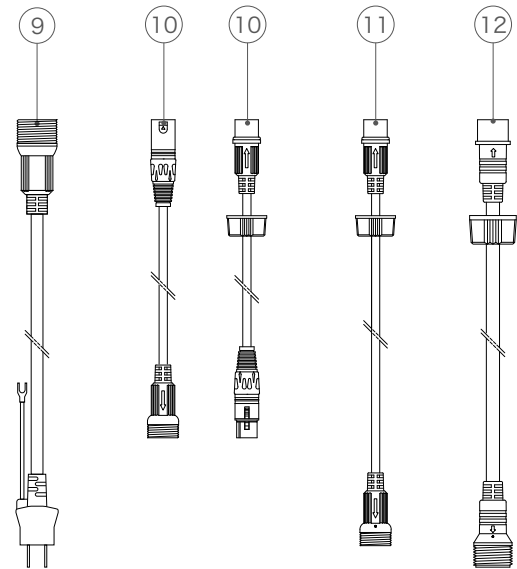
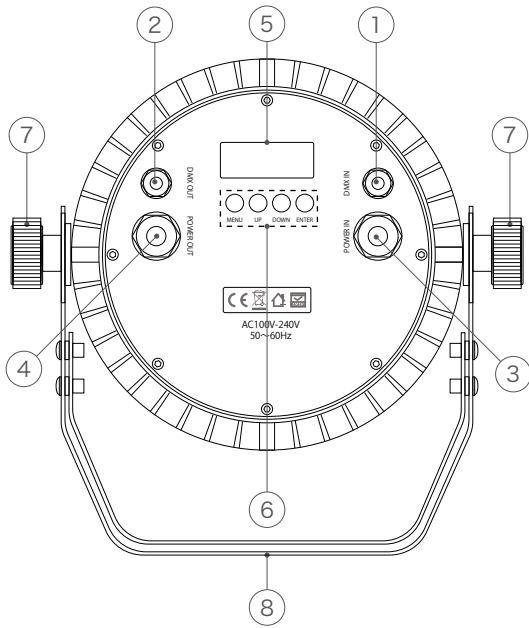
図1- 飛来塩分影響地域



株式会社エフェクトメイジ

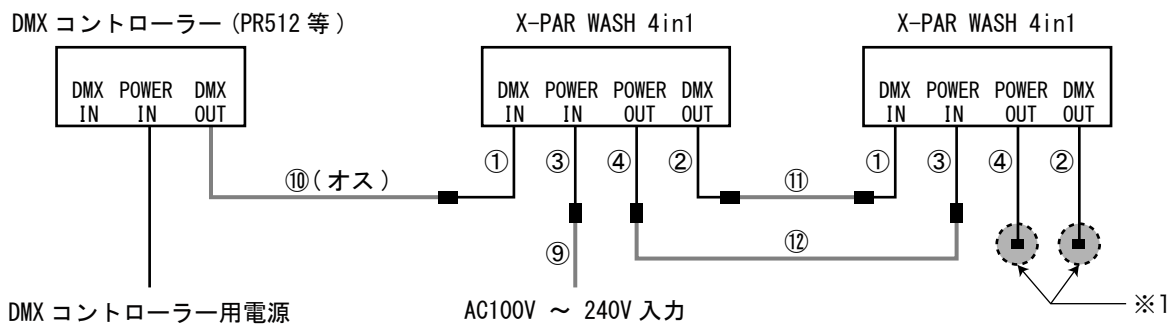
〒457-0863 愛知県名古屋市中区豊 2-35-19  
TEL 052-694-1313 FAX 052-694-0013

# 各部名称と機能・接続例



- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| ① DMX 入力コネクタ付きケーブル (オス)        | — DMX 信号線接続箇所 (入力)     |
| ② DMX 出力コネクタ付きケーブル (メス)        | — DMX 信号線接続箇所 (出力)     |
| ③ 電源入力コネクタ付きケーブル (オス)          | — 電源線接続箇所 (入力)         |
| ④ 電源出力コネクタ付きケーブル (メス)          | — 電源線接続箇所 (出力)         |
| ⑤ 表示ディスプレイ                     | — モード設定時使用             |
| ⑥ モード設定ボタン                     | — モード設定時使用             |
| ⑦ 角度調整ネジ                       | — アーム角度調整時使用           |
| ⑧ アーム                          | — 設置時使用                |
| ⑨ パワーコード                       | — 電源入力プラグ (アース線付き)     |
| ⑩ 専用 DMX 変換コード (オプション品)        | — キャンオンジャック (オス、メス) 変換 |
| ⑪ 専用 DMX エクステンションコード (オプション品)  | — 灯具間の DMX 延長コード       |
| ⑫ 専用パワーコードエクステンションコード (オプション品) | — 灯具間の電源延長コード          |

## 接続例

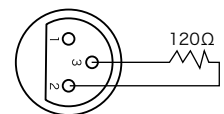


※①～⑫ 商品名称は上記参照

- ※1 末端は必ず絶縁、防水処理をしてください。  
(別途エンドキャップの取扱い)
- ※2 コネクタの接続は形状を確かめ  
しっかりと締めてください。
- ※3 最後に接続した DMX 対応器具に  
ターミネーターを使用してください。

### ターミネーターについて

市販されているターミネーターを DMX OUT 端子に差し込んでください。  
自作される場合は、オスの XLR コネクターを使用し 120Ω 1/4W の抵抗を、右図の様に 2 番 3 番ピンに接続しショートさせてください。

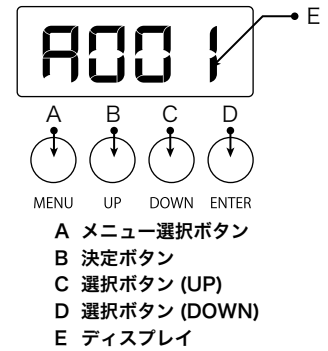


# 基本操作・メニュー説明1/2

## メニュー基本操作

A を押し、ディスプレイ上のメニューを変更します。  
 編集をしたいメニューが表示されたら D を押し、B と C のボタンで設定項目の値を変更できます。(編集中はディスプレイ文字が点滅します。)  
 D で決定し、A でメニュー画面に戻ります。  
 すべての設定が完了しましたら、一番最初のメニュー画面まで戻ってください。  
 (A001-A512/SLAU/Auto/Edit/tESt/SEt のいずれかの表示にしてください。)

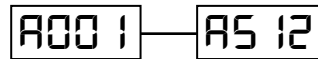
## 操作画面説明



## メニュー ディスプレイ表記・説明一覧 1/2

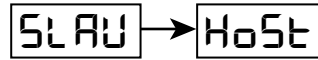
### アドレス設定 (DMX 制御時使用)

アドレス 001 から 512 まで設定が可能です。  
 任意のアドレスを設定してください。



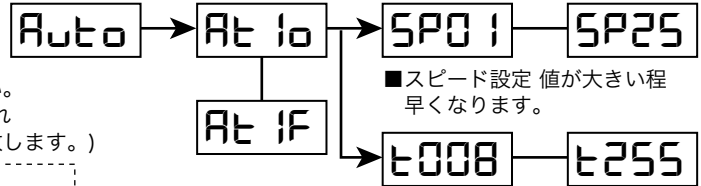
### スレーブモード設定 (2 台以上使用時)

マスター (Host) とスレーブを選択します。アドレス設定を A001 でご使用ください。(※要灯具間の DMX ケーブル接続)



### オートモード設定

8 種のオートモードがございます。  
 オートモードを組み合わせて出力が可能です。  
 出力したいオートモードは on にしてそれ以外は off にしてください。  
 複数のオートモードを利用する場合は時間設定した秒数の間出力され次の演出へと切り替わります。(設定したオート演出がループ再生致します。)



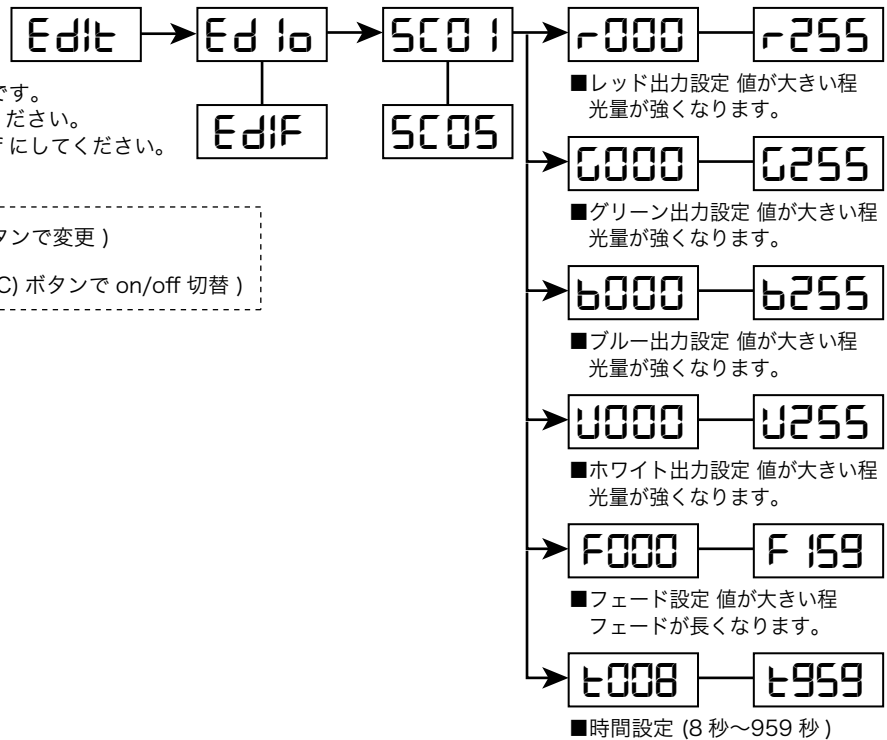
■スピード設定 値が大きい程早くなります。

■時間設定 (8 秒~255 秒) 複数オートを使用時に有効

At 10 — オート番号 (UP(B) ボタンで変更)  
 □ = on / F = off (DOWN(C) ボタンで on/off 切替)

### エディットモード設定

任意で設定した演出が出力します。  
 5 つのエディットを設定可能です。  
 1 つのエディットのなかで 5 シーンが設定可能です。  
 各シーン、カラー、フェード、時間を設定してください。  
 出力したいエディットは on にしてそれ以外は off にしてください。  
 設定したエディット演出がループ再生致します。



■レッド出力設定 値が大きい程光量が強くなります。

■グリーン出力設定 値が大きい程光量が強くなります。

■ブルー出力設定 値が大きい程光量が強くなります。

■ホワイト出力設定 値が大きい程光量が強くなります。

■フェード設定 値が大きい程フェードが長くなります。

■時間設定 (8 秒~959 秒)

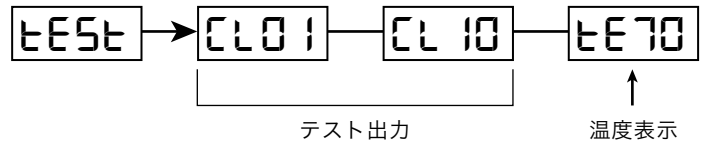
Ed 10 — エディット番号 (UP(B) ボタンで変更)  
 □ = on / F = off (DOWN(C) ボタンで on/off 切替)

メニューディスプレイ表記・説明一覧は P4 に続きます。→

メニュー ディスプレイ表記・説明一覧 2/2

テストモード設定

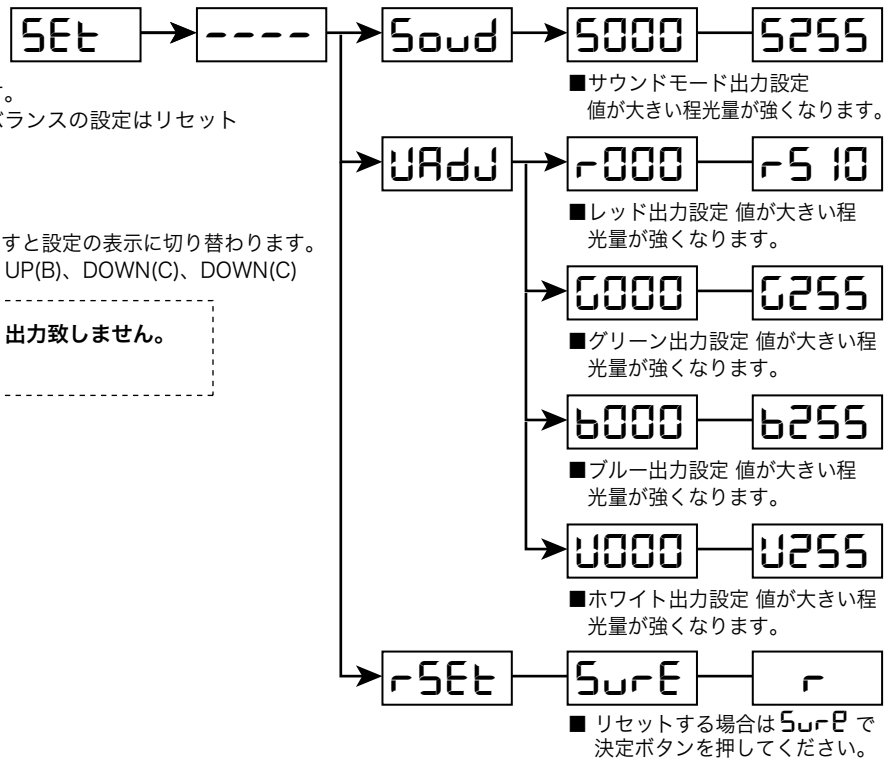
テストモードカラーと温度の確認が可能です。



表示番号	内容
CL00 - CL02	サウンドモード
CL03	レッド固定
CL04	グリーン固定
CL05	ブルー固定
CL06	ホワイト固定
CL07	イエロー固定
CL08	シアン固定
CL09	マゼンタ固定
CL10	ホワイト (RGBW) 固定
tEXX	温度が表示されます。

全体設定

サウンドモードの光量の出力設定や  
ホワイトバランスの設定ができます。  
また設定した内容をリセットすることが可能です。  
全体設定で設定したサウンドモード、ホワイトバランスの設定はリセット  
されません。



↑上記画面を表示してから以下のようにボタンを押すと設定の表示に切り替わります。  
UP(B)、DOWN(C)、UP(B)、DOWN(C)、UP(B)、UP(B)、DOWN(C)、DOWN(C)

これらの設定で数値を0にした場合は、LED 出力致しません。  
ご注意ください。

マニュアル操作搭載モード

表示番号	演出内容
At01	3カラーフェードチェンジ
At02	7カラーフェードチェンジ
At03	7カラーフェードチェンジ
At04	ストロボ
At05	カラーストロボ
At06	スピード変化カラーストロボ
At07	7カラーチェンジ
At08	サウンドモード

搭載オートモード参考動画を下記 URL からご覧いただけます。  
参考動画は 100W タイプですが演出内容は同様です。(2018.10.27 時点)  
商品ページの下記に動画ございますのでそちらをご参照ください。  
モニター的环境により発色が実際と異なる場合がございますので  
目安としてご参照ください。

<http://x-eco.jp/x-par-wash-4in1-6in1/>



## 9CHモード機能

本灯具は9CHの制御となります。チャンネル毎の機能は下記の通りです。

チャンネル	DMX 値	説明
1	0 - 255	0 - 100% マスター調光 ※0 では点灯しません。
2	0 - 255	0 - 100% レッドの調光
3	0 - 255	0 - 100% グリーンの調光
4	0 - 255	0 - 100% ブルーの調光
5	0 - 255	0 - 100% ホワイトの調光
6	0 - 255	マスター調光フェード ※通常は0に設定してください。
7	0 - 255	ストロボモード ※値が大きい程早くなります。
8	0 - 255	オートモード (内容は下記参照)
	0 - 99	カラーマクロ
	100 - 119	3カラーの演出
	120 - 139	7カラーの演出
	140 - 159	7カラーのブラックアウトなし演出
	160 - 179	フェードアウト有ストロボ (カラーは2~5で設定したカラーが出力)
	180 - 199	ストロボ1
	200 - 210	ストロボ2
	220 - 240	7カラーのカットチェンジ
241 - 255	オートモード OFF	
9	0 - 255	オートモードスピード設定 ※値が大きい程早くなります。

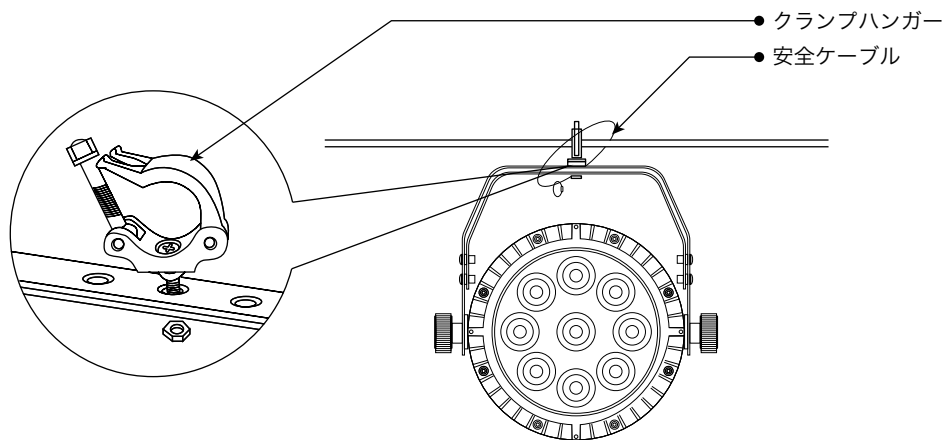
※ チャンネル1のマスター調光はすべてのチャンネルに有効です。  
マスター調光でDMX値を0にした場合はLEDが出力致しません。ご注意ください。

## 取付方法について

灯具を固定する場合はアーム取付穴 (φ12.8mm) を利用し固定してください。

吊って固定する場合には落下防止の為にクランプハンガーと安全ケーブルを必ずご使用ください。

※アーム取付穴とクランプハンガーに適したネジ等をお使いください。



## 屋外使用時注意事項

屋外で使用する場合、露出するコネクターは必ず防水処理を行なってください。

## メンテナンスについて

使用頻度、環境に応じてメンテナンスを行なってください。

※メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行なってください。  
本灯具に異常が発生したらすぐに電源を切り、販売店、工事店にご相談ください。

1. 通常のガラスクリーナーを使い、柔らかい布で外側のケースを拭きます。
2. 外側のレンズは、ガラスクリーナーで20日に1度クリーニングしてください。
3. クリーニング後電源を入れる前に、本体が完全に乾いているか確認してください。

クリーニングの頻度は環境によって異なりますが、頻繁に使用される場合は月に1回程度クリーニングを行なってください。